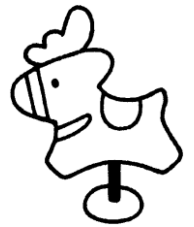




あたらしい本

第240号 2023. 12. 15 発行 (こども版)



たくさんよんでくださいね！

「おやすみまくら」

^{さいとう りん} 齊藤 倫 // 文 ^{うきまる} // 文 ^{まきの ちほ え} 牧野 千穂 // 絵 ^{しょうがくかん} 小学館 (えほん 幼児向き)

^ね寝たくないねこ、^{こねんこは}こねんこは、^{ゆめ なか げんき}夢の中でも元気いっぱい。「わたしをまくらにどうでしょう」と、^{まど}窓からまあるいあひるがあらわれた。あひるはふわふわやわらかくて、こねんこはすぐ^{ゆめ なか}夢の中へ…。おやすみ^{えほん}絵本。

「おつきさんでおもちつき」

^{おかだ}岡田 よしたか // 作・絵 ^{さく え} ひかりのくに (えほん 幼児向き)

^{つき うさぎ}月で^{うさぎ}兎がもちつきを始めると、^{はじ}地球人、^{ちきゅうじん}火星、^{かせいじん}火星、^{どせいじん}土星人、^{せいざ}星座までも「つかせてー」とやってみますが^{ちから た}力が足りません。そこでもちが「だれかおおぐまざよんでこーい」というと…。ゆるくて^{へいわ}平和なSFファンタジー^{えほん}絵本。

「ふゆのあとにははるがきます」

^{いしい むつみ ぶん}石井 睦美 // 文 ^{ひろし え} あべ 弘士 // 絵 ^{かん} アリス館 (えほん 3~5歳)

「ゆきむし」が^と飛び、もうすぐ^{さむ ふゆ}寒い冬がやってきます。そして^{ゆき}雪が…。^{ゆき ふ だ}雪が降り出し、^{ま しろ}真っ白になっていく様子、^{ようす}冬の^{ふゆ}間の^{あいだ}森の^{もり}動物たちの様子、^{どうぶつ}やがて^{ようす}春になっていく様子など、^{はる}ゆったりと^{ようす}時^{とき}の^{なが}流れる^{きたぐに}北国の^{せかい}世界を描いた^{えほん}絵本。

「じかんをまもれなかったクマのはなし」

ジャン=リュック・フロマンタル // ぶん ジョエル・ジョリヴェ // え しみず

れいな // やく ^{かわでしよぼうしんしゃ} 河出書房新社 (えほん 小初向き)

^{ねぼう}寝坊、^{ちこく}遅刻、^{じかんわり}時間割を^{まちが}間違える…。トラブルだらけのクマがある日、^{ひ とけい}時計の^{かた}よみ方を^{おそ}教わった。
^{おどろ}驚きの^{けつまつ}結末とは？^{わら}笑いの^{うず}渦に^ま巻き込みながら、^{じんせい}人生の意味を^{い み}教えてくれる^{おし}絵本。^{えほん}

「人形からとどいた手紙 ベルリンのカフカ」

ラリッサ・トゥーリー // 文 レベッカ・グリーン // 絵 野坂 悦子 // 訳

化学同人 (えほん 小初・小中向き)

人形をなくして泣いている女の子と出会ったカフカ。「人形はちょっと旅にでたんだ」と言ってなぐさめると、それから3週間、人形になりきって手紙を書き、届け続け…。カフカの
実話をもとにした優しさと希望に溢れる絵本。

「ぼくのなかみはなにでできてるのか」

かさい まり // 作 おとない ちあき // 絵 金の星社 (よみもの 小中向き)

小学4年のはるとは、いつもみんなにからかわれている。「ぼくのなかみは、弱虫となき虫でできている」と自分を分解して自信をなくす。だが、母に強く抱きしめられたはるとは…。自分を変える
一歩を踏み出す物語。

「身近な自然現象大研究 月はなぜ落ちてこないのか？」

池内 了 // 監修 PHP 研究所 // 編集 (理科・自然科学 小中・小上向き)

はさみはなぜ切れるのか？ 熱い飲み物が冷めるのはなぜ？ 宇宙にはなぜブラックホールがある？
よく見かける・体験する現象から、よく考えるとふしぎだと思ふ現象、地球と宇宙の現象ま
でを、イラストを用いて解説する。

「ある日、戦争がはじまった 12歳のウクライナ少女 イエバの日記」

イエバ・スカリエツカ // 著 神原 里枝 // 訳 小学館クリエイティブ 小学館
(よみもの 小上・中・高向き)

2022年2月、少女イエバの人生はロシアのウクライナ侵攻が始まったことで一変した。彼女が暮らすハルキウは攻撃下に置かれ、地下へ避難したイエバは備忘録として日記を書き始めた。「戦争のリアル」を伝える体験記。

さかどしりつちゅうおうとしょかん
坂戸市立中央図書館 TEL281-6369

※図書館流通センター「新刊全点案内」より引用